

	団体名	特定非営利活動法人 野田文化研究会
	代表者名	武智多恵子
	所在地	野田市野田 3 3 9 番地
1 事業名	ボランティア活動のための人形劇づくり、踊りづくりのスキルアップ事業	
2 事業費	691500 円 (このうち県の支出 345525 円)	
3 事業期間	2009 年 8 月～2010 年 2 月	
4 事業の目的	平成 19 年度の県のパワーアップ補助金事業を受けて、人形劇講座を開催し人形劇サークルが形成できた。 人形劇、踊り（よさこい踊り他）などで地域の保育園・老人施設へのボランティア活動をしているが、要求が多く現状では要求に充分に応じられる人数や内容ではないので更に養成講座で人を育成し、備品も整えて十分な内容でボランティア活動をする。	
5 事業概要	地域からのボランティアの要求にこたえられ、自信を持って豊かにボランティア活動を行うために、主に人形劇づくりと踊りづくりの講座を専門家を招いて実施した。 その結果、新しいメンバーが増え、又、新しい作品づくりもでき、参加者のスキルアップにもつながった。 活動に必要な備品の整備も行った。	
6 事業経過	<p>「誰が」「誰と」「誰（何）を対象に」「いつ」「どこで」「何をしたのか」ということを、わかりやすく簡潔に記載してください。</p> <p>人形劇講座、踊りづくり講座の参加者募集... 8 月 市報、ミニコミ紙に掲載。チラシは新聞折り込み 2 万枚（新聞販売店の協力で無料で配布） 人形劇講座 参加者（35 人 新人 14 人含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師...木ぐつの木 鹿島氏</li> <li>・開催...9 月～11 月まで 7 回実施</li> <li>・内容...ボードビル用の人形づくりと発声のためのワークショップ。ボードビルのストーリーづくり。演技方、ミニ発表会。</li> </ul> <p>踊りづくりの講座 参加者（56 人 新人 26 人含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師...阿部恭子氏（振り付家、演出家）</li> <li>・開催...8 月～2 月まで 14 回実施</li> <li>・内容...新しい曲 2 曲をつくって踊る。（野田をテーマにした曲、ソイソイおしょうゆソーラン・野田おどり）</li> </ul>	

	<p>備品の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇用...けこみ（移動用）、暗幕、ラジカセ、キーボード</li> <li>・踊り用...エイサー太鼓、旗、鳴子</li> </ul> <p>ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇（8月～2月） 6回実施 ...保育園、学童、子ども館、幼稚園、等</li> <li>・踊りグループ（8月～2月） 16回実施 ...老人施設、町のイベント、七夕まつり、商店のイベント、他</li> </ul>
<p>7 事業成果</p>	<p>具体的な成果</p> <p>具体的にどのような成果が出たのか、当初の目標に照らしてどの程度達成できたのかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より充実したボランティア活動ができるために、講座を開き新しい方の参加人数の目標を5～10人としたが、人形劇14人、踊り26人の参加があり、目標をはるかに超えた。専門の講師のもとに今までのメンバーと共に充実した講座が開催できた。講座終了後も、ほぼ全員が残りボランティア活動に参加している。参加募集については、地域の新聞販売店の新聞折り込みの協力で広い範囲で告知できたことは大きな成果です。</li> <li>・踊りの講座は新しい曲を2曲踊れることに目標を立てて実施した。一曲目は野田の醤油をテーマにした曲を創っていただき、当会で振り付けをし、新しいオリジナルの踊りが出来た。演奏グループ（曲を創ったグループ）と協力してボランティア活動や町のイベントなどに参加できるという協同活動が生れている。又、野田の醤油がテーマの曲などで、学校等でも踊れるようにと教育委員会に提案している。更にもう一曲は、野田の古い盆踊り「野田おどり」を野田市の許可を得て舞台用に振り付けをして新しい踊りが誕生した。老人施設等のボランティアではとても好評を得ている。沖縄のエイサー踊りも参加者から要望があり取り入れた。沖縄の文化も感じながら、元気が出る講座となりレパートリーも増えることになった。</li> <li>・人形劇は専門の講師のもとに新しいレパートリー（ボードビル他）ができたが、時間不足で演じ方まで充分にはいかなかったというスケジュールの立て方の不備があった。</li> <li>・ボランティアに必要な備品の整備は予定通り整えることができ、更に、新しい踊り（エイサー太鼓通り）にともない、エイサー太鼓もそろえることができ、ボランティア活動や町のイベントなどの活動に広がり内容の充実に大きな効果となっている。</li> </ul>

	<p>・講座を開催しながらボランティア活動もほぼ要請に応えられるようになり、人形劇は月に1回位、踊りは2～3回位のボランティアができるようになり、メンバーも社会貢献できる事に生きがいを感じられている。</p>
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>直面した課題 この事業の過程で直面した課題・問題を記載してください。</p> <p>今回の事業では参加者募集も新聞販売店の協力もあり、新聞折り込みを無料でできた事で、告知が十分にでき、参加者の集まりも目的を上まわったり、新しい踊りづくりでは、野田をテーマにした曲を野田の人が創って、踊りの時には生演奏で協力があったり、とりくみとしては充実した事が多かった。ただし、人形劇づくりは7回を実施したが、人形を創って演じ方も学ぶには少し時間不足であったので、ゆとりのあるスケジュールを組むべきだった。</p> <p>平成22年度以降の事業展開 この事業は21年度の県の補助事業としては完了しますが、どのように事業活動を展開していくのかを記載してください。</p> <p>主に団塊の世代が地域で交流を深めながら、社会貢献ができる活動として今後も人形劇、踊りを中心にした活動を継続していく方向です。</p> <p>そのためには、常にメンバーも広めながら、スキルアップをする学習も必要であると考えますので、自分達で学びあうこととやはり専門家の力も借りる必要もあるので、補助金もさがしながらやっていきます。</p>
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>NPO活動費補助金を行った感想や、応募についてのアドバイスなどがあれば記載してください。</p> <p>2回実施させていただいて、活動に必要な備品整備や講座を開催でき、活動のグループの確立などが出来ました。</p> <p>ボランティアとして社会貢献できる組織ができたことは、社会にとっても成果があったと感じます。</p>



# しやり通信



発行  
しやり本部  
編集 広報部

発行：NPO法人 しやり 連絡先：shari@j310jp.com

## しやり講演会

2月28日 風の谷保育園にて

首都医校看護学部、心理学講師の松村香先生をおまねきしてハートフル講演会「みんなちがってみんないい」を開催しました。まず発達障害とはなにか、その分類や定義についての説明がありました。そして知能検査によって子供の特性や個性、社会生活を営むにあたってなにが弱点となつて

いるかを発見することが障害を持つ子供への支援・療育にとつて必要なことだということをととても分かりやすく説明していただきました。

知的障害と精神遅滞は同じ意味のように誤解されていることが多いのですが、じつは同義語ではなく、知的に遅れがあっても社会生活に適応している人は精神遅滞とは言えないのです。知的障害によって社会的な生活が困難な場合を「精神遅滞」というのです。

では知的障害・発達障害があっても社会生活に適応させるにはどうすればいいかという点、それには周囲の理解と適切な支援が不可欠です。本人に合った環境を用意して、自尊心をきずつけることのない療育・教育をしなければなりません。

みんなちがった個性・能力を持つてる。でもみんなそれでいいんだよ。子供たちをみんなと育てていこうよ！

そんなハートフルな想いに満ちあふれた講演会となりました。

**参加者の感想**  
Aさん…IQや障害など、いろいろな面で誤解をしてました。本当はどんなものか、そして障害に対して大切なことがとてもよくわかりました。私のおいっこや職場のこども

たちとむきあうなかで、しっかりと環境を考えてきたいとおもいます。Bさん…最近いろいろな発達障害の種類を聞くことはあったが、いまいち違いについて理解できていませんでした。今日の話聞いてよくわかりました。職場に問題行動を起こす子も多いのですが、しかるべき環境が必要と認識できました。

Cさん…発達障害についてとてもよくわかる講義でした。知識をもったうえで接するのと、知識がないのでは大きく差があり、その子ひとりひとりを理解していくことが大切だと感じました。

Dさん…とても分かりやすく参考になりました。子供の幼稚園にも発達障害らしきお友達がいりますが、その子に対する知識・理解もついたらと思います。

Eさん…このような話を聞く機会をもてたことに感謝。みんなちがっての言葉どおり、その子らしさを発揮していける社会になつたら本当にいいと思います。小さな一歩からでも自分が動くというところが大切だと思うので行動にうつしていきたいと思います。

Fさん…会場の建物に驚かされました。木のおい、温もりも感じられる場所ですね。講義もとてもわかりやすく子供の環境を提供していくことで、スキルを伸ばしていく療育の大切さを学びました。

Gさん…会場の建物に驚かされました。木のおい、温もりも感じられる場所ですね。講義もとてもわかりやすく子供の環境を提供していくことで、スキルを伸ばしていく療育の大切さを学びました。

Hさん…その子らしく育つように早めの対応が必要というのがよくわかりました。私は保育士ですがそのことをつたえていきたいと思っています。

Iさん…知能検査の内容や、なんのために検査するのかがよくわかりました。我が子も自閉症ですが、これからもよいところをどんどん伸ばしていきたいです。大人になつて働いたり生活するにはどうしていいかわるか、青年期・成人の具体例の話なども今後聞けたらうれしいです。

Jさん…市の発達センターへ2歳から通つていました。そこでは何の説明もなく、的確な指導もありません。小学生になります。いろいろな不安を感じていましたが、今回とても勉強になりました。

松村先生ならびに講演会にご参加くださいましたみなさまに御礼もうしあげます。

松村先生ならびに講演会にご参加くださいましたみなさまに御礼もうしあげます。

松村先生ならびに講演会にご参加くださいましたみなさまに御礼もうしあげます。

松村先生ならびに講演会にご参加くださいましたみなさまに御礼もうしあげます。





# しやり通信



発行  
しやり本部  
編集 広報部

発行：NPO法人 しやり 連絡先：shari@j310jp.com

## ハートフルクリスマス 風の谷保育園にて

ハートフルクリスマス  
パーティが十二月二十日  
(日)に行われました。  
まず、みんなでクリスマス  
ツリーを作ろう！  
次に庭に出て、遊びな



ツリー作成中

からサンタさん呼びま  
した。大きい声を出さな  
いと、サンタさんは来て  
くれませんか！  
外で遊んでいたら、子  
供達の声を聞きつけてサ



サンタさん来てください！

ンタさんが来てくれたか  
もー！！



待ちに待ったサンタさん  
登場！プレゼントをいっ  
ぱい持ってきてくれまし  
たよ！



### スタッフ紹介

さあ、続いてしまいま  
したしやり通信。という  
わけでこのコーナーも奇  
跡の第二回目でございま  
す。

今回紹介するスタッフ  
は、もうベテランといっ  
てもいいスタッフでしょ  
う。個人的にこのスタッ  
フの印象は「涙もろいけ  
ど、人が見えないところ  
で頑張っている明るくて  
しっかりした女の子」そ  
してなんと自分でも自称  
「しやりのアイドル」(?)  
です。それではスタッ  
フ

紹介いってみましょう。

①しやりネームは？

「まにまに」ですー！！

②本名は？

ご想像にお任せします。

③初めてしやりに参加し  
たのはいつ？

2004年夏のフレンドキャ  
ンプです。

④しやりに参加した経緯  
は？

ハギさんの講演を聞いた  
友人に誘われて。

⑤一番印象に残っているし  
やり行事は何ですか？

夏キャンプ！！(の打ち上  
げ笑)

⑥それは何年のキャンプ  
ですか？

初参加のキャンプ。

⑦しやりの魅力って何で  
しょう？

バラエティー豊かな人物。  
⑧何か一言。

しやりには目標とすべき  
人たちが大勢います。彼  
らの力になることが私の  
夢です。

まにまに、ご協力ありがと  
う。これを読んでいるそ  
このスタッフ、次はあな  
たのところに行くかもし  
れませんか？以上、スタッ  
フ紹介でした。

### 編集後記

あけましておめでとう  
ございます。祝 第二号  
に感謝、感謝！1999  
年12月24日しやり設  
立いたしました。早いも  
ので10年たちましたがあ  
思い起こせばいろいろあ  
たな。

最初は無我夢中でした  
が、今も昔も変わらない  
のが「自分自身が楽しむ」  
というしやりのモットー  
です。10年よくやっ  
た。いろいろな人に出  
会えて支えていただい  
て今日まで来ることが  
できました。

来年はしやりのホーム  
ページのリニューアルを  
致します。公式な行事内  
容、報告、しやり通信も  
すべてホームページにU  
P致しますので、できる  
限りホームページを見て  
ください。2010年も  
NPO法人しやりにとっ  
て飛躍できる年となるよ  
う、10年目として斬新  
な夏のキャンプができる  
ように期待してください。  
NPO法人しやり理事長  
ボビー